



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 11 月 16 日(水)
あしたのまち・くらしづくり活動賞授賞式 編

11 月 16 日に東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにて公益財団法人あしたの日本を創る協会などが主催する「平成 23 年度あしたのまち・くらしづくり活動賞」表彰式が開催され、のしろ白神ネットワークは振興奨励賞を受賞しましたのでが出席してきました。

この協会は昭和 30 年、戦後の市民主体の社会再建運動を国も支援していこうと鳩山一郎内閣の時に発足したのだそうです。地域活動団体の支援や育成・交流などさまざまな事業を行っており、その一つが「活力に満ちたまちづくり、個性豊かな地域社会づくりに取り組む団体の顕彰」です。

今年度は内閣総理大臣賞・内閣官房長官賞・総務大臣賞が各 1、主催者賞は 5、振興奨励賞は応募 130 団体の中から 22 団体が受賞しました。ちなみに、内閣総理大臣賞は能登さんのふるさと長野県佐久市の商店街が受賞されています。また、過去の受賞をみると能代の NPO 法人メリーゴーランドが子育て支援活動で振興奨励賞を受賞されていました。

表彰は副賞付きの大きな賞から順に名前を呼ばれましたが、振興奨励賞では秋田県より北の受賞団体がなかったため、のしろ白神ネットワークはここでも 1 番最初に名前を呼ばれました。前の方と同じようにお辞儀をすれば良いのだと安易に考えていたのでちょっとドキドキしましたが、「以下、同文」でなく、賞状全文を読んでいただけたのは良かったなと、東北風景街道協議会の認証式で同じ状況だった佐々木先生のことばを思い出しました。

今回は市民活力推進課・小野さんが、副賞 20 万円が活動費になればと応募してくださったおかげで思いもよらない栄誉をいただきましたが、これも NW の仲間と地道に活動を積み重ねてき成果の一つです。これからも変らぬ姿勢で活動を続けていければと思います。

文： 渡辺 千明

公益財団法人あしたの日本を創る協会の HP:

<http://www.ashita.or.jp/office/index.htm>

長野県佐久市岩田村商店振興組合の HP:

<http://www.iwamura.com/shop/naniwaya/>



前日のワークショップからの参加者も多く、会場はドンドン埋まっていきます。平日の日中のせいか、若い方は少ないように感じました。



功労賞の個人表彰もあったため、壇上には 50 人もが着席し、1 時間のセレモニーが続きました。右側の最前列が、副賞をいただける団体で賞状も一回り大きなものでした。NW の隣席は茨城県で平成 19 年から地域の高齢者の見守り&交流事業をしている方で、20 万円の副賞を活動費にしたかったと残念がっておられました。



表彰式後の早大・鳥越先生のご講演では、便利さや消費、お金ではかるこれまでの意識転換をはかる暮らしが必要ではないかとのお話がありました。



閉会后、多くの団体は仲間どうして記念撮影をされていました。親切な事務局の方が、お一人でもせっかくですから...とうつして下さいました。